



## 命を守る行動を学ぶ 避難訓練

5月1日(木)、火災を想定した避難訓練を行いました。相馬消防署から三浦様を含め3名の署員の方にお出でいただき、ご指導をいただきました。学校等の公共の場所での有事の際には、放送等で係員から避難についての指示が出されます。今回の避難訓練では、火元や避難の指示情報を頭に入れ落ち着いて行動する生徒の姿が見られました。

3年生の避難経路には、安全性の高い疑似煙を充満させた**屋内濃煙体験**を加えて実施しました。白煙が充満した通路は視界が悪く、つい「見えない」「怖い」といった声が漏れてしまいます。実際の火事ではパニック状態に陥ってしまう人がいるというのも納得できます。

事後には三浦様から、「**実際の火事の場合、黒煙が立ちこめ一酸化炭素などの有毒ガスも発生し、呼吸が苦しくなる。**」といったお話もありました。安全委員長の管野さんから、「普段から、火元を想定し、出火したらどこに避難すべきか、どのような行動をすれば良いかなどいろいろな場合を想定して行動することが大切であると感じた。」と意見があり、相馬消防署員に方々へのお礼の言葉もありました。

三浦様からは、生徒の避難についてだけでなく、**我々、教職員の生徒の誘導の仕方**や今後の避難訓練についてもご指導をいただきました。

「備えあれば憂いなし」、想定することは、大切な備えの一つです。避難訓練は、その大切な備えの一つです。日頃からの心構えと行動が自分や周りの人の命を守ることに繋がります。これからもこういった訓練を大切にし、有事の際には冷静に、安全に行動できるようにしたいものです。



## ふくしま学力調査

5月2日(金)、1・2年生を対象とした「ふくしま学力調査」を実施しました。生徒一人一人の学力の伸びや学習等に対する意識、生活の状況等を把握することを目的とした調査です。

学校ではこの結果をもとに、生徒の「学力の伸び」の状況を分析し、学力を伸ばした可能性の高い取組を校内で共有し、今後の授業改善につなげていきたいと思ひます。また、個人結果票をもとに生徒の学習改善に向けたアドバイスをを行い、**家庭学習の充実**につなげていきたいと考えています。



## 読解力向上 RST (リーディングスキルテスト) 活用推進

本年度もRS(リーディングスキル)の視点を意識した日々の授業改善を目指した取り組みを行います。7月に実施予定のRSTの結果を分析し、生徒のつまずきを予想し教科書を活用して具体的に対応していきます。

教科書には、「日本の児童生徒が学校で身につけて卒業すべき内容」がすべて書かれています。「誰でも読めばわかるはずの教科書」の読みにつまずく生徒に寄り添って、我々教師は、生徒一人一人が教科書を読めるようになるための手段を模索していきたいと思ひます。

学校HP

